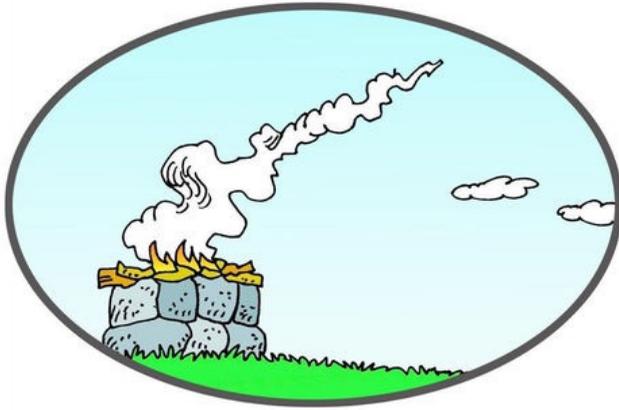


# アブラハムとイサク

Level  
2



文・ショート敦子

絵・<http://www.freebibleimages.org>

この本は聖書の物語（創世記 22 章）をやさしい日本語で書いたものです。

アブラハムにイサクが<sup>う</sup>生まれました。  
アブラハムは100<sup>さい</sup>才でした。



イサクは<sup>たいせつ</sup>大切な<sup>こ</sup>子どもです。

ある日、神はアブラハムに言いました。  
「アブラハムよ。」

アブラハムは言いました。  
「はい、ここにいます。」



神は言いました。

「あなたはイサクと山に行きなさい。  
わたしにイサクをささげなさい。」

つぎ ひ あさ  
次の日の朝、アブラハムはイサクと  
いっしょに、いえ で  
家を出ました。



みっかかん ある  
三日間、歩きました。  
やま つ  
山に着きました。

アブラハムはい言いました。

「ここで神をかみ礼れいはい拝する。」

アブラハムはさいだん祭壇つくを作りました。



イサクがい言いました。

「お父さん、ここにたきぎ薪はあります。」

でも、ささげ物のもの羊ひつじはどこですか。」

アブラハムは<sup>い</sup>言いました。  
「ささげ<sup>もの</sup>物の<sup>ひつじ</sup>羊は<sup>かみ</sup>神が<sup>も</sup>持っている。」



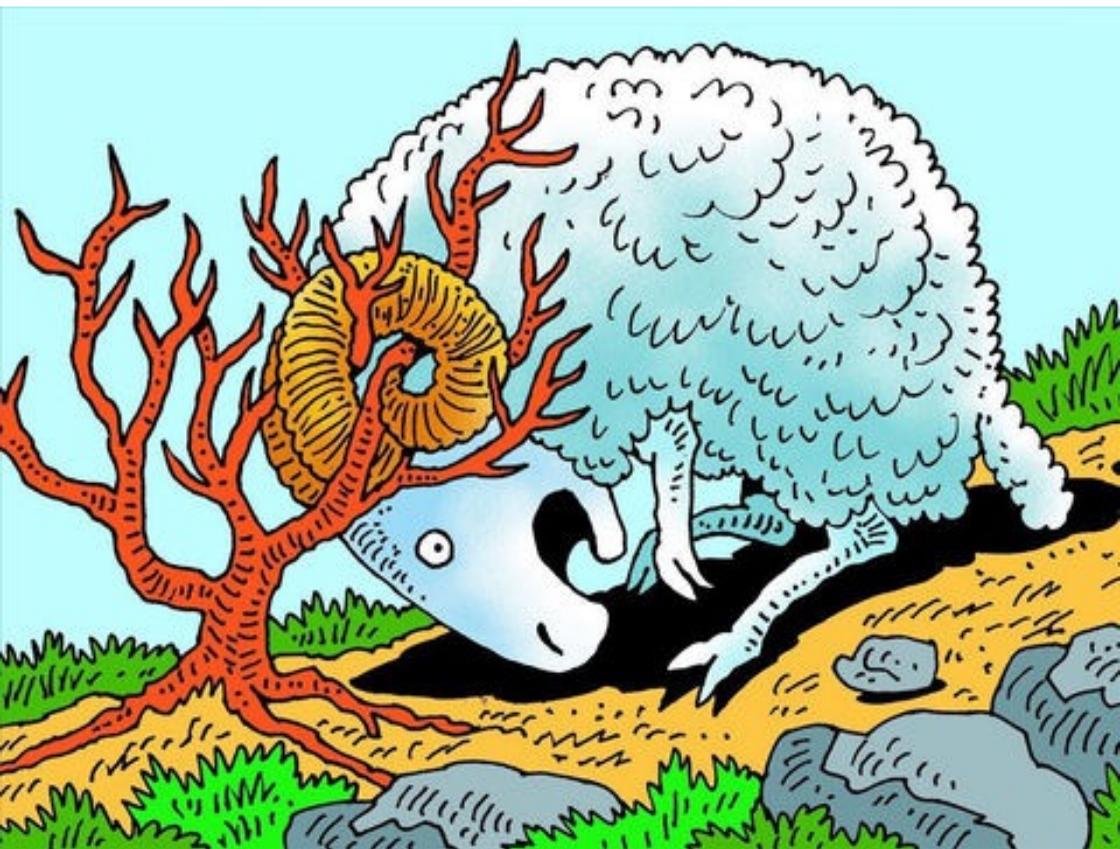
アブラハムは<sup>たきぎ</sup>薪を<sup>さいだん</sup>祭壇の<sup>うえ</sup>上に<sup>お</sup>置きました。  
それから、イサクを<sup>たきぎ</sup>薪の<sup>うえ</sup>上に<sup>お</sup>置きました。

その<sup>とき</sup>です！  
天使<sup>てんし</sup>が<sup>い</sup>言いました。



「アブラハム、アブラハム。その<sup>こ</sup>子<sup>なに</sup>に何も  
してはいけません。」

アブラハムが<sup>み</sup>見ると、そこに<sup>いっぴき</sup>一匹の  
<sup>ひつじ</sup>羊がいました。



アブラハムは、<sup>かみ</sup> <sup>ひつじ</sup>羊をささげました。

アブラハムは、そこをアドナイ・イルエ  
と呼びました。



かみ い  
神は言いました。

「アブラハムよ、わたしはあなたを  
もっともっと祝福しゅくふくします。」

# 「アブラハムとイサク」 (Abraham and Isaac)

Text by Atsuko Short

© 2020 Atsuko Short All Rights Reserved

Tadoku Family <http://www.tadokufamily.com>



CONTRIBUTED BY

**Jill Kemp (story) & Richard Gunther (illustrations)**

These images are the copyright of Jill Kemp and Richard Gunther and distributed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial 4.0 International license.  
Further free resources in support of this story and images can be found at [www.lambsongs.co.nz](http://www.lambsongs.co.nz)



[www.freebibleimages.org](http://www.freebibleimages.org)

この作品はクリエイティブコモンズ表示-非営利4.0国際ライセンスのもとに提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/deed.ja>